

第Ⅳ章 観光施策の現状と課題

平成22年度から平成26年度を計画期間とする「新富士市観光交流まちづくり計画」では、最重点プロジェクト（1事業）、重点プロジェクト（4事業）、一般プロジェクト（6事業）の計11のプロジェクトを位置付け、さまざまな取組を進めてきました。

最重点プロジェクトの『紙まち文化プロジェクト』においては、一般旅行者向け体験ツアーを実施したほか、平成24年度からは「富士山紙フェア」を開催していますが、工場見学のメニュー化は実現していません。

重点プロジェクト『富士山百景プロジェクト』においては、富士山百景写真コンテストを実施することによる誘客向上と、市内はもとより、首都圏や中部圏での展示会を開催することにより、本市のイメージアップと積極的なPRに繋がっています。

また、『富士山しらす街道プロジェクト』は「しらす丼」を中心とした商品開発が定着し、マスメディア等での情報発信の効果もあり、実績に繋がっています。

さらに、『まちの駅・おもてなしプロジェクト』は、富士市まちの駅ネットワークの会員数が64駅に拡大するとともに、富士市観光ボランティアガイドの会等によるおもてなし活動の充実が図られています。『富士川歴史街道プロジェクト』では、ウォーキングイベントやマップの作成などの活動が活発に行われています。

一般プロジェクトの『岩本山・雁堤プロジェクト』や『農業体験プロジェクト』は、梅や桜の時期の誘客事業を定着化している一方、『東海道吉原宿プロジェクト』『新・泉の郷プロジェクト』『スポーツメッカプロジェクト』『富士川エコツーリズムプロジェクト』は話題性や収容力など実践的な取組に課題を残しています。